

日野市公の施設の指定管理者候補者の選定に係る審議報告書

平成 30 年（2018 年）9 月

日野市指定管理者候補者選定委員会

日野市長 大坪 冬彦 様

日野市指定管理者候補者選定委員会
委員長 坪島 尚

日野市公の施設の指定管理者候補者の選定に係る審議報告書

日野市指定管理者候補者選定委員会（以下「選定委員会」という）は、平成 31 年（2019 年）4 月 1 日から、下記の公の施設の管理・運営について、地方自治法第 244 条の 2 で規定する指定管理者制度を活用して行うにあたり、「日野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例」（以下「条例」）及び「日野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則」（以下「規則」）の規定に基づき、審査を行いました。

審査に先立ち、対象施設の選定方法について、管理運営実績状況や市の施策を円滑に推進するため、条例第 2 条の公募による選定で行うという方針が、市から示されました。

以上のことを踏まえ、市民委員及び行政委員で、慎重に審議をした結果、審査が終了いたしましたので、「日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱」（以下「要綱」）第 2 条に基づき、次のとおり報告いたします。

なお、選定委員会は、日野市教育委員会指定管理者候補者選定委員会と合同開催しました。

1. 選定を行う施設一覧

施設名	募集方法	新規・更新
日野市地区広場及び日野市遊び場（全 14 施設）	公募	更新
日野市市民の森ふれあいホール	公募	更新
日野市立地区センター（全 66 施設）	公募	更新
日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター	公募	更新

2. 指定管理者候補者選定までの経過

（1）候補者の募集

平成 30 年（2018 年）5 月 15 日及び平成 30 年（2018 年）6 月 15 日号「広報ひの」及び同日付をもって日野市のホームページで募集しました。申請書の受付締切は、同年 7 月 13 日でした。

条例第 2 条の規定に基づき、上記「1」の施設において、指定管理者の候補者を募集しました。

指定管理期間は 5 年間です。

(2) 応募状況

施設名	応募事業者数
日野市地区広場及び日野市遊び場（全 14 施設）	1 者
日野市市民の森ふれあいホール	2 者
日野市立地区センター（全 66 施設）	1 者
日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター	1 者

(3) 選定委員会の設置及び開催経過

	日程	主な議題
第 1 回 (選定委員会設置)	平成 30 年 (2018 年) 7 月 23 日 (月)	・委員長選出及び選定基準の決定ほか ・現地視察
第 2 回	平成 30 年 (2018 年) 7 月 26 日 (木)	・日野市地区広場及び日野市遊び場（応募 1 者）に係る応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点 ・現地視察
第 3 回	平成 30 年 (2018 年) 7 月 31 日 (火)	・日野市市民の森ふれあいホール（応募 2 者）に係る応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点 ・日野市地区広場及び日野市遊び場採点結果報告・確認
第 4 回	平成 30 年 (2018 年) 8 月 7 日 (火)	・日野市立地区センター（応募 1 者）に係る応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点 ・日野市市民の森ふれあいホール採点結果報告・確認
第 5 回	平成 30 年 (2018 年) 8 月 16 日 (木)	【日野市教育委員会指定管理者候補者選定委員会】 ・日野市立八ヶ岳高原大成荘（応募 2 者）に係る応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点 ・日野市立地区センター採点結果報告・確認
第 6 回	平成 30 年 (2018 年) 8 月 21 日 (火)	・日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター（応募 1 者）に係る応募事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答、採点 ・日野市立八ヶ岳高原大成荘採点結果報告・確認
第 7 回	平成 30 年 (2018 年) 8 月 23 日 (木)	各施設採点表確認、指定管理者候補者の選定まとめ及び審議報告書の作成

3. 選定基準

条例第 4 条第 1 号から同条第 5 号に基づき、第 1 回選定委員会で決定された「日野市公の施設の指定管理者候補者選定基準」により、厳正かつ公正な審議を行いました。（詳細は施設ごとに参照願います。）

4. 選定方法

施設ごとに、応募事業者から提出された事業計画書の審査を行うとともに、事業者によるプレゼンテーション、事業者・主管課への質疑応答及び事業者の実績等を考慮した総合的な審議を経た上で当該施設の指定管理者候補者を選定しました。

5. 選定結果

施設名	選定事業者名	指定期間	募集方法
日野市地区広場及び日野市遊び場 (全 14 施設)	株式会社 日野市企業公社	5 年	公募
日野市市民の森ふれあいホール	シンコースポーツ・アズビル共同事業体	5 年	公募
日野市立地区センター(全 66 施設)	株式会社 日野市企業公社	5 年	公募
日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター	株式会社 ケイミックスパブリックビジネス	5 年	公募

6. 審議全体の総括

応募事業者より提案された事業計画書は、現在の施設の管理・運営状況を十分把握・理解した上で創意工夫された提案がされていました。

応募事業者が複数であった場合は、最も適切と判断される事業者を選定しました。また、応募事業者が1者の場合は、一定の管理運営能力を有する事業者であるか、指定管理者候補者となり得る事業者であるか判断し、選定しました。

選定委員会では、指定管理者制度を活用することにより、更なる市民サービスの向上を図れるように、当該事業者を指定管理者として指定する議決がされたのち、市と協定締結するにあたっての意見を付します。

(選定における意見・要望)

- ・協定締結にあたって、指定管理者募集要項及び管理運営基準仕様書に加え市民サービスにつながる提案及び当審議報告書に記載した個々の施設に対する要望事項の内容について協定書に記載する方向で検討していただきたい。
- ・施設の有効利用を一層促進するため、施設を利用する市民などの声を聴き、事業者ならではの自由な発想と運営が出来るように指定管理者の指導をしていただきたい。
- ・現状分析をしっかりと行い、利用者を増加させ、稼働率を向上させるよう、様々な工夫を検討していただきたい。PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルをまわしながら、着実に実施していただきたい。
- ・災害時等の対応は、市と連携・協力し、いつでも誰でも対応できるように、防災マニュアル等をしっかり整備していただきたい。
- ・要員配置計画は働き方改革を意識していただきたい。それぞれのスタッフの労働時間等の把握のため、シフト表等を市へ示すなどしていただきたい。

- ・高木剪定など危険を伴う作業等については、労働安全衛生法を遵守し、安全への配慮をしていただきたい。

(指定管理者候補者選定制度に対する市への要望)

- ・質疑応答の時間をもう少し長くすることを検討していただきたい。
- ・より時間をかけて検討できるよう、資料は早めに配布いただきたい。

7. 選定委員名簿

固定委員		
委員長	坪島 尚	市民委員
副委員長	小平 裕明	行政委員・総務部長
委員	岩崎 嘉壽子	市民委員
委員	増永 廣幸	市民委員
委員	吉澤 武子	市民委員
委員	大島 康二	行政委員・企画部長 ※日野市立地区センター担当
変動委員		
委員	小笠 俊樹	行政委員・環境共生部長 ※日野市地区広場及び日野市遊び場担当
委員	高橋 真二	行政委員・産業スポーツ部参事（芸術文化スポーツ担当） ※日野市市民の森ふれあいホール、日野市市民会館・七生公会堂担当
委員	赤久保 洋司	行政委員・健康福祉部長 ※日野市立七生福祉センター担当

施設名：日野市地区広場及び日野市遊び場

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ・施設の特性を生かしたサービスが提案されているか
- 事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであることについて
 - ・施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか
 - ・事務効率、経費削減の工夫がされているか
- 事業計画に沿った管理を安定して行うことについて
 - ・安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか

(2) 応募事業者

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点結果

市民委員4名及び行政委員2名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

<採点結果表>

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (条例第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	183 点	240 点 (40 点×6 名)
	②誰でも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域との連携が図れているか。		
	⑥障害者差別解消法に基づき適切な施設運営を行う体制が整えられているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (条例第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	159 点	300 点 (50 点×6 名)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	185 点	240 点 (40 点×6 名)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対		

(条例第4条第3号)	応策は適切であるか。		
	④適正な経理処理ができるか。		
	⑤利用者からの苦情対応策は適切か。		
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。 (条例第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	22点	30点 (5点×6名)
その他市長等が必要と認める事項。 (条例第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	69点	90点 (15点×6名)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計 (a)		618点	900点 (150点×6名)
得 点 率 (a/b) ※b=900点 (150点×6名)		69%	

※ 各項目の採点基準（評価点）

- 5点 要件を十分に満たしている。
- 4点 多少工夫の余地はあるが、ほぼ要件を満たしている。
- 3点 基本的な水準を満たしている。
- 2点 多くの問題があり、基本的な水準に達していない。
- 1点 全く要件を満たしていない。

※ 審査は、各審査項目について、配点に応じて評価点に所定の掛け率を乗じ採点した。

例) 内容の配点20点の場合：評価点5点×加重点4倍＝配点20点

※ 得点率の考え方

採点結果表の得点小計 (a) が配点合計満点 (b) の何%になるのか算出 (小数点以下四捨五入) する。

(4) 選定事業者

株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成31年(2019年)4月1日から平成36年(2024年)3月31日まで

(6) 選定理由

- ・得点率が評価点満点の69%であり、「日野市公の施設の指定管理者候補者選定基準」において、一定の管理運営能力を有する事業者であると判断する目安と定められている60%以上の条件を満たしている。

- ・ 本施設の管理運営について、十分な経験があり、公の施設としての適切なサービスの提供が期待できると判断した。
- ・ 採算性の高くない事業の中で、非常に清潔によく管理されているところが評価できる。

(7) 各委員からの意見・要望

- ・ 地域にある広場・遊び場であるので、地域自治会や地域団体と連携して対応していただきたい。
- ・ 遊具もきれいに管理されているが、事故の無いように点検等をしっかりしていただきたい。問題がある場合は、速やかに市へ連絡し、対応をしていただきたい。
- ・ 自動販売機を置くなど検討しているようだが、是非、収益を上げる工夫をしていただきたい。
- ・ 収支計画書の費目について、具体的にわかりやすい形に見直し、精査していただきたい。

施設名：日野市市民の森ふれあいホール

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ・誰でも利用できる配慮、障害者差別解消法に基づき適切な施設運営を行う体制が整えられているか
- 事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであることについて
 - ・施設の特性を活かしたサービスが提案されているか
 - ・2019年ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの国際大会に向けて機運の醸成を図る事業提案があるか
 - ・南平体育館建替え期間中のトレーニングルームの代替施設について、具体的かつ実現可能な事業提案となっているか
 - ・運営方針に基づいた施設の利用率が向上させるための具体的な提案がなされているか
- 事業計画に沿った管理を安定して行うことについて
 - ・同種の施設管理運営実績があるか

(2) 応募事業者

シンコースポーツ・アズビル共同事業体 ほか1者

(3) 採点結果

市民委員4名及び行政委員3名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

<採点結果表>

審査項目	内 容	シンコースポーツ・アズビル共同事業体得点	B者得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (条例第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	129点	121点	175点 (25点×7名)
	②誰でも利用できる配慮、障害者差別解消法に基づき適切な施設運営を行う体制が整えられているか。			
	③地域・他機関との連携（自治会・学校・公園・地域諸団体など）が図られた内容となっているか。			
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する	①施設の特性を活かしたサービスが提案されているか。	340点	282点	455点 (65点×7名)
	②2019年ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの国			

経費の縮減を図ることができるものであること。 (条例第4条第2号)	際大会に向けて機運の醸成を図る事業提案があるか。			
	③南平体育館建替え期間中のトレーニングルームの代替施設について、具体的かつ実現可能な事業提案となっているか。			
	④運営方針に基づいた施設の利用率が向上させるための具体的な提案がなされているか。			
	⑤事務効率、経費削減等の工夫がされているか。			
	⑥事業計画の指定管理料の提示金額が適正であるか。			
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (条例第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	249点	237点	315点 (45点×7名)
	②同種の施設管理運営実績があるか。			
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。			
	④適正な経理処理ができるか。			
	⑤利用者との苦情対応策は適切か。			
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。			
個人情報等について適正な管理が確保されること。 (条例第4条第4号)	①個人情報等について適正な管理が確保されていること。	26点	26点	35点 (5点×7名)
	②環境への配慮がされているか。	52点	52点	70点 (10点×7名)
③運営方針等から熱意・意欲が感じられるか。				
小 計 (a)		796点	718点	1,050点 (150点×7名)
得点率 (a/b) ※b=1,050点 (150点×7名)		76%	68%	

(4) 選定事業者

シンコースポーツ・アズビル共同事業体

(5) 指定期間

平成31年(2019年)4月1日から平成36年(2024年)3月31日まで

(6) 選定理由

- ・ 得点率はシンコースポーツ・アズビル共同事業体 76%、B 者 68%であり、「日野市公の施設の指定管理者候補者選定基準」において、両事業者とも一定の管理運営能力を有する事業者であると判断する目安と定めている 60%以上であるが、シンコースポーツ・アズビル共同事業体の得点が上位であるため。
- ・ 本施設の管理運営について、類似施設の十分な経験があり、公の施設としてのサービス提供の向上が期待できると判断した。

(7) 各委員からの意見・要望

- ・ 現指定管理者から変更となるので、混乱が無いようにするとともに、新たな提案メニューを追加する等サービス向上に努めていただきたい。
- ・ 提案している自主事業のレンタルロッカーの設置については、とても良い取り組みなので、是非、実施していただきたい。
- ・ 現指定管理者より経費が高くなっている。人件費、その他経費等の現状との違いを明確にし、精査していただきたい。
- ・ 来館者数の集計は、市が主催する全館を使用するような大きなイベント等での来館者数の内訳がわかるようにすることを検討していただきたい。
- ・ 調理室（集会室 2-4）の稼働率を上げるため、工夫したイベントを検討していただきたい。
- ・ イベント開催時に飲食の模擬店を出店するため、仕込み等で調理室（集会室 2-4）を使用する場合、既定の開館時間より早く開館するなど柔軟に対応していただきたい。

施設名：日野市立地区センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- 市民の平等な利用及びサービスの向上について
 - ・市民の平等な利用が確保されているか
 - ・地域との連携が図れているか
- 事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであることについて
 - ・施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか
- 事業計画に沿った管理を安定して行うことについて
 - ・防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか
 - ・日常的な安全管理の体制が整えられているか

(2) 応募事業者

株式会社 日野市企業公社

(3) 採点結果

市民委員4名及び行政委員2名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

<採点結果表>

審査項目	内 容	(株)日野市企業公社 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (条例第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	187点	270点 (45点×6名)
	②利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	③施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	④地域との連携が図れているか。		
	⑤障害者差別解消法に基づき適切な施設運営を行う体制が整えられているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (条例第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	84点	120点 (20点×6名)
	②事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	273点	360点 (60点×6名)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応		

(条例第4条第3号)	策は適切であるか。		
	④適正な経理処理ができるか。		
	⑤利用者からの苦情対応策は適切か。		
	⑥労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。 (条例第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	46点	60点 (10点×6名)
その他市長等が必要と認める事項。 (条例第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	64点	90点 (15点×6名)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計 (a)		654点	900点 (150点×6名)
得点率 (a/b) ※b=900点 (150点×6名)		73%	

(4) 選定事業者

株式会社 日野市企業公社

(5) 指定期間

平成31年(2019年)4月1日から平成36年(2024年)3月31日まで

(6) 選定理由

- ・得点率が評価点満点の73%であり、「日野市公の施設の指定管理者候補者選定基準」において、一定の管理運営能力を有する事業者であると判断する目安と定めている60%以上の条件を満たしている。
- ・本施設の管理運営について、十分な経験があり、公の施設としてのサービス提供の向上が期待できると判断した。
- ・簡単な修繕を直営で行うなど、経費削減に努めており、評価できる。

(7) 各委員からの意見・要望

- ・現状分析をしっかりと行い、利用者数及び稼働率向上に努めていただきたい。これからの5年間の指定期間で変化が出るように努めていただきたい。
- ・自主事業の実施や関連団体、自治会等へ働きかけ、稼働率向上に取り組んでいただきたい。
- ・利用者が安心して利用できるように、修繕すべきところはしっかりと行っていただきたい。
- ・収支計画書に自動販売機手数料収入の記載がない。用途不明にならないように、収支計画書に記載していただきたい。

- ・既に着手していると説明があったが、地区センターに避難所の防災マップを表示する、浸水想定区域などで災害時は使用できない等、災害時の掲示を検討していただきたい。
- ・災害時の避難場所等として対応していただいているが、今後もお願いしたい。緊急時の鍵の所在をしっかりとっていただきたい。
- ・高齢男性はあまり地域に出てこないのが、地域協働課及び高齢福祉課とタイアップし、高齢男性が参加しやすい事業を検討していただきたい。
- ・高木剪定等の高所作業等について、労働安全衛生法を遵守し、危険が無いようにしていただきたい。

施設名：日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター

(1) 選定のポイント（採点表における重点項目）

- 事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであることについて
 - ・施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか
 - ・集客につながる事業実施・サービスの工夫を行っているか
 - ・事業集客につながる情報発信・広告等を行っているか
 - ・事業計画の指定管理料の提示金額が安価であるか
 - ・事務効率、経費節減の工夫がされているか
- 事業計画に沿った管理を安定して行うことについて
 - ・安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか

(2) 応募事業者

株式会社 ケイミックスパブリックビジネス

(3) 採点結果

市民委員4名及び行政委員4名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

<採点結果表>

審査項目	内 容	(株)ケミックス パブリックビジネス 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されていること。 (条例第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	142 点	200 点 (25 点×8 名)
	②誰でも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④地域・他機関との連携が図れているか。		
	⑤障害者差別解消法に基づき適切な施設運営を行う体制が整えられているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。 (条例第4条第2号)	①施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。	404 点	560 点 (70 点×8 名)
	②集客につながる事業実施・サービスの工夫を行っているか。		
	③集客につながる情報発信・広告等を行っているか。		
	④事業計画の指定管理料の提示金額が安価であるか。		
	⑤事務効率、経費削減等の工夫がされているか。		

事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (条例第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	204点	280点 (35点×8名)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯及び非常災害時等の危機管理対応策は適切であるか。		
	④適正な経理処理ができるか。		
	⑤利用者からの苦情対応策は適切か。		
	⑥日常的な安全管理の体制が整えられているか。		
	⑦労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされているか。		
個人情報等について適正な管理が確保されること。 (条例第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	27点	40点 (5点×8名)
その他市長等が必要と認める事項。 (条例第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	85点	120点 (15点×8名)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計 (a)		862点	1,200点 (150点×8名)
得点率 (a/b) ※b=1,200点 (150点×8名)		72%	

(4) 選定事業者

株式会社 ケイミックスパブリックビジネス

(5) 指定期間

平成31年(2019年)4月1日から平成36年(2024年)3月31日まで

(6) 選定理由

- ・得点率が評価点満点の72%であり、「日野市公の施設の指定管理者候補者選定基準」において、一定の管理運営能力を有する事業者であると判断する目安と定めている60%以上の条件を満たしている。
- ・本施設の管理運営について、他市の類似施設の十分な経験があり、様々な魅力ある指定事業・自主事業を提案しており、公の施設としてのサービス提供の向上が期待できると判断した。
- ・従来の貸館中心の運営から、文化・芸術の場へ大きく変身が期待できる。

(7) 各委員からの意見・要望

- ・提案の各文化事業の収支は赤字のものが多い。文化事業はお金がかかるものなのかもしれないが、経営が難しければ、市民と連携した事業などを検討しても良いのではないかと。日野市民の多様なニーズを捉えて検討していただきたい。また、入場料も高い印象があるので、市民が参加しやすい金額を検討していただきたい。
- ・夜間警備の人員配置が提案されているが、経費削減を検討していただきたい。
- ・文化事業については、経費がかかっても、見る価値のあるものを是非実施していただきたい。
- ・市民会館は、市役所本庁と電力を共用しており、市民会館で電力使用量が多い場合は、本庁の電力使用を控える必要がある場合がある。また、参加者が多く見込まれる場合は、隣接する本庁の駐車場を使用する場合もある。このため、市民会館の電気使用及び駐車場使用については、市（総務課及び財産管理課）と連携していただきたい。
- ・日野市立七生福祉センターは、段差がある等バリアフリー対策が必要であるので、対応していただきたい。
- ・七生公会堂の稼働率を上げる施策を検討していただきたい。
- ・指定管理者には、従来から行っている「赤レンガプロジェクト」をあわせて、市民会館の文化・芸術の年間メニューを作成し、運営していただきたい。